

国宝・大浦天主堂やグラバー園がならぶ
 長崎市南山手の丘は、明治維新のころ(19世紀)、
 日本で唯一、西欧との交流が行われたところです。
 そして、世界の近代絵本の源流は、
 19世紀のイギリスにあります。
 このような、歴史的にゆかりのある丘に、
 「祈りの丘絵本美術館」があります。
 洋館に瓦ぶきという、当時の長崎独特の洋風建築です。

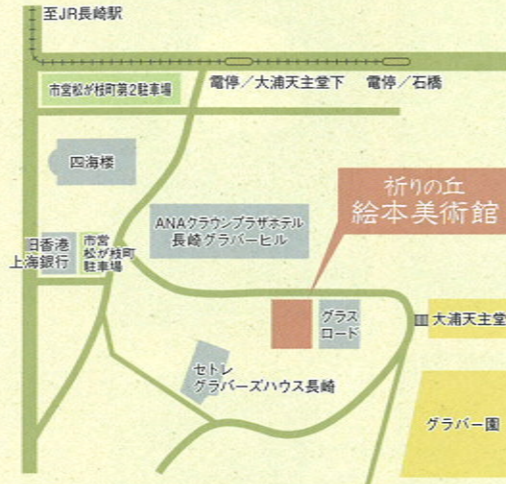


国宝・大浦天主堂

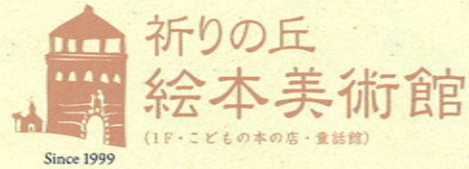
グラバー園

祈りの丘 絵本美術館

(1F・こどもの本の店・童話館)



交通アクセス
 JR長崎駅から、路面電車「正覚寺下」行に
 乗車。「築町」で下車、「石橋」行に乗り換え。
 「大浦天主堂下」下車、徒歩5分。



〒850-0931 長崎市南山手2-10 TEL 095(828)0716 FAX 095(828)0768
 開館時間/10:00~17:30(入館は17:00まで)
 休館日/毎週月曜(祝日の場合は翌日休館)、展示入替日、年末年始
 観覧料/大人・大学300円、小・中・高200円
 (1階の童話館までは無料で入館できます。)
 [URL] <http://www.douwakan.co.jp>



美術として、絵本を楽しむ

世にある多くの絵本が、必ずしも鑑賞にたえるものとはいえません。

それでも、一部のすぐれた絵本は、
お話と絵の両輪によってつくりあげられた芸術です。
絵本の練りあげられたお話は、文学と呼ぶに値しますし、
絵は、一枚の絵画として美術の高みにあります。

「祈りの丘絵本美術館」は、美術の小道をとって絵本の世界へご案内します。



長崎堀

長崎堀とは、地元の自然石と土で堀を築き、表面を漆喰で仕上げたものです。生活の場からの、ていねいにつくられた堀は、自然石のそれぞれの形や質感や色合いがほどよく調和して、美しい壁面となっています。



1F こどもの本の店・童話館

すぐれた絵本は、幼児期に、人としての精神の骨格をつくりまします。童話館には、絵本・こどもの本が、およそ4000点・1万冊用意されています。

また、企画展の画家の作品や、ここでしか手にはいらない、絵本から生まれたポストカードやグッズなど、ミュージアムショップとして利用できます。



1階・童話館は、無料で入館できます。

2・3F 国内外の絵本の原画を展覧

2階、3階が美術館のフロアです。美術館では、所蔵している童話館ゆかりの画家の作品による常設展や、国内外の絵本の原画による企画展を開催しています。



「やまなしもぎ」太田大八 絵 (20×45cm)



「びわの木の下」大道あや 絵 (220×175cm)

おただいほち 太田大八コレクションと、 だいでう 大道あや 常設展

長崎ゆかりの絵本画家であり、日本の絵本界の重鎮でもある太田大八氏の生涯にわたる作品、また、同じく長崎出身の清水崑氏の代表作を所蔵・展示しています。3階では、日本画家でもある大道あや氏の大作を常設展示しています。

ばんとし こ 中村忠二 常設展



①



③



②



④

- ①「アリとキリギリス(春)」 伴敏子 絵 (128×82cm)
- ②「アリとキリギリス(夏)」 伴敏子 絵 (128×82cm)
- ③「アリとキリギリス(冬)」 伴敏子 絵 (128×82cm)
- ④「バク」 中村忠二 絵 (26×39cm)

絵本のコーナーと集いのコーナー

3階の一角には、およそ500冊の選びぬかれた絵本のコーナーがあり、美術館フロアに入館された方は自由に楽しむことができます。その隣は、集いのコーナーです。絵本の大切さを伝えたり、小さなコンサートなどにご利用いただけます。

こどもの本の 童話館グループ

◆祈りの丘絵本美術館

「祈りの丘絵本美術館」は、こどもの本の童話館グループ(長崎市)によって、設立・運営されています。

◆こどもの本の店・童話館(書店部)

こどもの本の店・童話館は、1981年、長崎市にオープンしました。以来、子どもと本の出会いを願いつづけ、童話館グループの母体となりました。「祈りの丘絵本美術館」の開館にともない、市内中心部から美術館の1階へ移転しました。

◆童話館ぶつくらぶ

「質のよい絵本に出会いたい」「どれが、うちの子にふさわしい本なのか、よくわからない」…という声にお応えして、子どもの成長年齢に応じて選びぬかれた絵本・こどもの本を、郵便で定期的にお届けします。

「童話館ぶつくらぶ」が発足して30年余。毎月、全国と海外へ、多くの絵本・こどもの本を長崎から送りだしています。日本で最大の配本システムです。(詳しくは小冊子「絵本のある子育て」をご覧ください。)



◆童話館出版

子どもの本離れが進み、質のよい絵本・こどもの本の継続的な出版がむずかしくなっていくなか、童話館出版では、絶版になった作品の復刊や、オリジナルの新刊を出版しています。その分野の評価も高く、出版点数は240点余を数えます。(2014年現在)

